

令和4年4月28日

# 緑小だより

横浜市立緑小学校 5月号



ふれあい 学びあい みとめあう みどりっ子

Mail : y3midori@edu.city.yokohama.jp

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/midori>

学校は共に学ぶ場です!!

学校長 能城 順一

令和4年度がスタートして、はや1ヶ月が過ぎようとしています。新しい学年・新しい学級へと進級した子どもたち、また緑小学校に入学した新1年生の子どもたち、スタート当初の緊張した表情から、やわらいだ表情へと変化が見えてきた4月の最終週です。同時に、子どもたちの疲れも感じています。特に、新1年生の子どもたちは新しい環境で頑張りを続けた1ヶ月、疲れもピークでしょう。ぜひ、大型連休で身体を休めて、リフレッシュしてほしいと思います。

私は、毎日の日課として全教室を巡回しています。そして、毎年のことではありますが、私は、この時期に小学校6年間の教育活動の積み重ねの「重み」を痛感するのです。この時期、1年生は、一生懸命に「ひらがなや数字を丁寧に正しく書く学習」に取り組んでいます。それに対して6年生は、社会科で「日本国憲法の3つの柱」や「法律とは?」「政治を行う代表者を選挙で決めるとは?」等の学習に取り組んでいるのです。これは一例ですが、このような子どもたちの小学校生活6年間での著しい成長を感じる場面は、私に、「小学校」という場で働けることの「幸せ」をも感じさせてくれます。

学校は「共に学ぶ場」です。単に知識を得るだけならば極端な話、一人でも学べます。しかし、学校は「教師と子どもたち」「子どもたち同士」「異学年の子どもたち」で学び合います。時には、「地域のボランティアの方や保護者の皆様と子どもたち」でも学び合います。私は、学校が「共に学ぶ場」であるからこそ、上記のような6年間での著しい成長の姿を見ることができると考えています。

本校では、毎年春の5月末に運動会あるいは体育発表会を実施しています。それは、進級・入学して出会った新しい仲間といち早く「共に学び、そして、共に創り上げる喜び」を実感して欲しいという願いがあるからこそその春の実施なのです。今、私がこの原稿を書いている時も、校庭から5年生の「エイサー」の音楽、そして、子どもたちの心をついにしようと指導する教師の声が聞こえてきます。「共に学ぶ場」である学校の素晴らしい風景の一つです。5月28日(土)の体育発表会は、本年度も新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、制限された形とはなりますが、「教師と子どもたちで共に創りあげようとする思い」は、コロナ禍以前の運動会の時と何ら変わることはありません。保護者の皆様、ぜひ、練習の過程から子どもたちを励まし、そして見守ってあげてください。

最後になりますが、現在のウクライナの報道を見るたびに、胸が痛みます。一日も早く辛く悲しい思いをしている人々が、日常の生活に戻れる事を願うばかりです。そして、教育の最大の使命とは「平和を何よりも大切に作る心」を育てていくことであると強く思うのです。「共に学ぶ場」である緑小学校が、私の願いである「ありがとうにあふれた学校」に育っていきますように、保護者の皆様・地域の皆様、今後ともお力添えをよろしくお願いいたします。